

# 平成 27 年度 沢地小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会まとめ

5月29日(火)に開催された「沢地小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話983-2708)

ご参加ありがとうございました。



## 【当日参加団体一覧】

団体名		
沢地町内会	三島市光ヶ丘保育園	エコリーダー
富士ビレッジ自治会	沢地幼稚園	体育振興会
光ヶ丘1丁目町内会	沢地幼稚園PTA	消防団第3分団
光ヶ丘3丁目町内会	沢地小学校	防犯サポーター
富士見台自治会	沢地小学校PTA	地域安全推進員
地域包括支援センター	スクールガード	三島市PTA連絡協議会
交通安全母の会	富士見台子ども会	

※当日参加者 26 名

## 【地域の情報交換】

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力をお願い～

- 千寿会：昨年度「きずなづくりトークまとめ」は大変参考になった。老人会役員で話題に取り上げている。災害時の身の処し方など、お世話をかける場合でもきずなは大切。
- 地域安全推進員：三島駅前交番の区域内で活動中(13名)。月に4～5回青色回転灯車で町内巡回や、防犯促進活動を実施。最近ワンパターン化してきているので、アイデアがあればぜひお寄せいただきたい。

### <会場アンケート>

話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



## 【テーマ別会議】

会場アンケートの結果	
① 下校時の見守り体制を広げよう！	15人
② 子ども会のサポートをしよう！	0人
③ 高齢者のコミュニケーションの機会を増やそう！	3人
④ 防災体制を強化する工夫について考えよう	7人
⑤ その他	0人

※アンケートの結果、テーマ①④について話し合いました。(次頁以降「テーマ別会議まとめ」参照)

参加者の発言内容を「現状・お困りごと」と、課題解決に向けた「解決策・アイデア」に分類しました。

テーマ①

「下校時の見守り体制を広げよう！」

	現状・お困りごと	解決策・アイデア
下校時の問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●時間が長く、危険箇所あり</li> <li>・下校時は2～3時間と時間が長い。</li> <li>・下校時間がバラバラで見守る大人が少ない。特に遅い時間。</li> <li>・地域の高齢化。</li> <li>・帰宅が遅くなると危ない箇所あり。</li> <li>・「かけこみ 110 番」も暗いとわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ポイントになる場所・時間の周知</li> <li>・下校時間（学年別）に合わせて、また見守り場所を決めてサポート協力したい。</li> </ul>
スクールガードの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも見守って頂いているが、どんな立場の方がやって下さっているか、理解していない。</li> <li>・何年もパトロールをやって下さっている方は、そろそろ・・・と考えているが、交替できる方が現れない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沢地小校区のパトロール団体を「スクールガード」として一団体にした。</li> <li>●サポーターとは</li> <li>・8町内で20人程活動中。長い人で13年程継続。ボランティア。</li> <li>・通学路を巡回。</li> <li>・会社をリタイアした人から募集。</li> <li>・町内会で信頼できる人を紹介している。（町内会で面接）</li> </ul>
サポーターの裾野を広げるには	サポーターの認知度が低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体の認知度が低い。</li> <li>●サポーターの情報が入ってこない</li> <li>・サポーターは誰がやっているのか？</li> <li>・サポーターが不足している場所は？</li> </ul>
	サポーターの重要性を周知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の人には非常に大切なことをしているとの認識が少ない。</li> <li>・サポーターの活動の大切さを地域住民に知ってもらう。</li> <li>●被害状況を共有する</li> <li>・実際に被害に遭った人の話を聞く。</li> <li>→サポーターに対する感謝・尊敬が高まる。サポーターのやりがいアップ。</li> </ul>

	現状・お困りごと	解決策・アイデア
地域住民に協力を求めていく	<ul style="list-style-type: none"> <li>散歩している人の協力を仰ぐ。</li> <li>在宅者に協力してもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●散歩コースの工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内にウォーキングコース3タイプを設定。①景観、②エクササイズ、③防犯。③の中で関心を持ってもらい、自然にサポーターになる？ことを期待。</li> </ul> </li> <li>●犬の散歩の人に腕章をつけてもらう（腕章は学校や市役所、町内から配布）</li> <li>●在宅で出来るサポート <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅の人の補助。自宅前での立番。</li> <li>・近所の人立っただけでも有り難い。</li> </ul> </li> </ul>
	町内会との連携を深めていく	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町内会との連携（地域の大人が参加） <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会で声掛けする。</li> <li>・子どものいない家庭の協力もほしい。</li> </ul> </li> </ul>
地域住民が参加しやすい見守りを考えよう！	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の負担が大きい。</li> <li>・時間的制約がある。</li> <li>・なかなか続かない。</li> <li>・学校や地域との連携不足。</li> <li>・町内当番制は難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報の整理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターの情報を整理する。</li> <li>・出来る人が出来る範囲で！</li> </ul> </li> <li>●情報交換の場づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会など情報交換の場づくり。</li> <li>・インターネットの利用。</li> </ul> </li> <li>●学校支援地域本部「かわせみ」の協力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援地域本部「かわせみ」から情報発信や周知をする。</li> <li>・学校にある防犯マップの利用。</li> </ul> </li> </ul>

## 今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇スクールガードやサポーターの情報（登録者、参加方法など）を整理しよう！
- ◇危険な時間や場所など情報交換する場を作り、地域の人に活動を周知していこう！
- ◇負担にならない見守り方法を考え、協力者を増やしていこう！
- ◇情報発信や周知には学校支援地域本部を活用し、地域と協力する体制をつくろう！



今回の話し合いで出された意見を参考にして、  
 各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！  
 次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといい

	現状・お困りごと	解決策・アイデア
光ヶ丘保育園で トークの結果を 実践した	<ul style="list-style-type: none"> <li>●光ヶ丘一丁目町内会の防災会議に保育園が参加</li> <li>・「保育園が災害弱者の一次避難場所」という文書があいまいであるという指摘を受け、災害弱者を明確にした内容に修正した。町内会の確認待ち。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の収容人数については、部屋単位での貸し出しを検討中。</li> </ul>
沢地幼稚園 どのように逃げ たら良いか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児 74 名、職員 9 名。</li> <li>・年一度避難訓練実施。沢地川で土石流の危険がある。</li> <li>・幼小合同訓練を考えているが、園から小学校まで避難する途上で土砂災害の危険性がある。</li> <li>・逃げ道がない。遊歩道か道路しかない。どちらも危険。ご意見を伺いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・龍澤(リュウタク)寺に避難していたが、土砂災害の危険があるという指摘を受け、今年度初めて沢地小に避難する取組みを進めている。</li> <li>・まず各町内の防災組織を改めることが必要になってくる。防災専門組織が立ち上がれば、話が進むのではないか。</li> </ul>
地域の現状を 見直す	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災上の問題点</li> <li>・地域が広く 2,000 人程が居住。50%以上が 75 歳以上というデータあり。</li> <li>・沢地小への道が坂になっていて危険。危険個所をどう回避するのか？</li> <li>・身体不自由者や乳幼児など、支援や防災活動をどうするか。</li> <li>・防災意識をどう高めていくのか。</li> <li>・3 年ほど訓練をしていない。地域の一体化をどう進めていくのか。</li> <li>●避難所生活を知りたい</li> <li>・災害が起こった時、具体的にどのような生活が始まるのか。</li> <li>●災害弱者がたくさんいる</li> <li>・災害弱者がかなりいる。地域包括で把握しているのは一握り。地域の方に災害弱者の把握をしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域でコミュニティ作り</li> <li>・地域包括支援センターでは「男同士のそば打ち講座」を開催した。高齢者同士のつながりを作っていきたい。</li> </ul>

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
各町内防災会の課題	町内でばらつきがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町内会によって防災会にばらつきがある。ばらつきをどう解消するか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災会の存在価値、実態が掴めない。</li> <li>・危機感の欠如。</li> </ul> </li> <li>●防災組織を根本的に見直す <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず各町内の防災会を改めるべき。</li> <li>・防災組織の体制づくりが一番では？</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市で防災会の査定をしてもいいのでは？</li> <li>・町内会と防災組織で問題点を話し合い、認識を共有する。</li> <li>・現在の組織でとりあえずシミュレーションを試してみる。</li> <li>●自主防災組織の見直し <ol style="list-style-type: none"> <li>①各町内で実効性のある組織体制。</li> <li>②専任の委員の選定。任期 5～10 年。</li> <li>③班組織または組内の役割分担の確認と訓練の実施。</li> </ol> </li> <li>●各町内で防災専門組織を立ち上げる <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所生活を送る上での最低限の機材の調達・点検等を行う。</li> </ul> </li> </ul>
	意見がバラバラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な人間がいるので、なかなか話がまとまらず、方向が見えない。何を第一にやっていくのか？</li> </ul>	
	若者がほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治防災には若い人の参加が望まれる。どうしたら若い人が参加してくれるか。</li> <li>・光ヶ丘の防災会は高齢者が多い。40歳前後の方が参加してくれればいい。</li> <li>・やりがいかわかりにくい。</li> <li>・どのように人数を増やし、納得して参加してもらうか。</li> </ul>	
	仕事があるため対応困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の際に災害が来た場合、対応できない可能性がある。</li> </ul>	
	任期が短いことや輪番制にはメリットとデメリットがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者が毎年入れ替わることで、深まりがないのではないか。</li> <li>・防災組織は、誰がその役割を担うのか。</li> <li>・責任を持って長期に関われる人材は？</li> <li>・毎年防災委員が変わると、防災委員が居ないと同じでは。</li> <li>・防災組織自体が構築出来ていないと感じている。役員は輪番制であり、実際に災害が起きた時に対応出来ないのでは？</li> </ul>	⇔町内役員の輪番制は、多くの人が体験できるメリットがある。

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
リーダー不在	リーダーがほしい		<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災のリーダーが必要</li> <li>・経験・知恵があり、指示が出来る人。</li> <li>・消防団に入れば防災のエキスパート。消防団OBなど、地域の人材を活かす。</li> </ul>
	防災委員の役割の誤解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災会という大変そうなイメージ。</li> <li>・「防災会がレスキューや消防をやる」といった誤解があるのではないか。</li> <li>・普段の活動はそれほど大変ではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災会の役割の周知</li> <li>・機材の点検や、がれきに埋まった人の救出など、最小限度のことをやるということを周知していく。</li> </ul>
	他町内の事例を参考にする		<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災力の高い町内の取り組みの共有</li> <li>・千枚原が好事例。まとまっていて防災組織もしっかりしている。実態を理解していくことが大事。</li> </ul>
	長期計画を立てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の考え方が会長により変わってくる場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●先を見通した計画を</li> <li>・防災計画について町内会5カ年計画を作成してはどうか。不安の解消につながる。</li> <li>●防災の道しるべ</li> <li>・三島市による各町内の防災力の監査と課題のフォローアップ。</li> <li>・市が防災コーディネーターを派遣するなど最低限のフォロー。</li> <li>●消防団と連携</li> <li>・消防団をうまく活用し、自主防災と連携していく。</li> </ul>

### 今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇市の協力を仰ぎ、各町内の課題を把握し、何から取り組むべきか考えよう！
- ◇各町内の防災組織を実行力のある組織にするために、町内会と防災組織で話し合いを重ねていこう！
- ◇身近な他町内（千枚原など）の好事例を地域で共有し、参考にしよう！
- ◇町内5カ年計画など、長期的な計画を立てよう！

今回の話し合いで出された意見を参考にして、  
各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！  
次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといい





沢地小学校区

H27.05.29

テーマ:防災体制を強化する工夫について考えよう!①



沢地②

H27.5.29

